

# 1 棚田について

## □棚田とは

棚田とは、山地の斜面に作られた階段状の田のことをいい、幾重にも重なった田の様子が棚のように見えることから、このように名付けられました。

地形的にみると1/20（水平方向に20㍍進んだときに1㍍高くなる傾斜）以上の傾斜地にある田を棚田といい、地域全体の1/2以上を占める地域を棚田地域と呼んでいます。

## □棚田の現状

本県の棚田地域は約9,400haと水田面積全体の約2割を占めるとともに、その立地条件を活かした多様な農産物を供給するなど、重要な農業生産地域を形成しています。

しかしながら、近年は、過疎化や高齢化の進行、さらには不利な地形条件による多大な営農労力等から耕作放棄地が拡大しつつあり、棚田のもつ多面的機能が失われようとしています。

## □棚田の役割

棚田は農業生産の場としてだけでなく、農業生産活動を通じて、県土の保全や水源のかん養、美しい農村風景の形成、多様な動植物の育成など多くの機能を有しており、豊かな生活空間の確保に様々な恩恵を提供しています。

### ○米作りの場（農業生産）

生産条件の視点からみれば効率は良くありませんが、昼夜の寒暖差が大きいことや源流に近いきれいな沢水を利用していることなどから、おいしい上質米が作られています。



周南市の棚田

### ○洪水や土砂流出の防止（県土保全）

棚田は、雨水をダムのように山や河川の水源域から流れ出る水を用水路から取り入れ貯留し、長い時間をかけて下流に流れることにより、洪水や土砂崩壊を防止しています。



山口市の棚田

○地下水の供給（水源かん養）

棚田に貯められた水は、長い時間をかけて流下する間に地下に徐々に浸透し、地下水を潤してやがて河川に伏流し、下流域での水利用を豊かにします。



光市の棚田

○美しい農村風景の形成（景観保全）

棚田のある農村風景は、四季折々の変化に富んだ美しい景観とともに、きれいな水と空気を提供し、日本人の心の原風景として私達に安らぎと温もりを与えてくれます。



岩国市の棚田

○多様な動植物の育成（生態系保全）

棚田は周囲の里山と多様な環境を構成し、多種多様な小動物や昆虫、植物を育てています。



生きものの宝庫